

報告事項ク

企画展「鳥取藩二十二士と明治維新」の開催について

企画展「鳥取藩二十二士と明治維新」の開催について、別紙のとおり報告します。

平成25年10月28日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

企画展「鳥取藩二十二士と明治維新」の開催について

平成25年10月28日
博 物 館

1 概要

2013年は、1863（文久3）年8月17日に河田佐久馬ら22人の鳥取藩士が、藩主側近を京都の本圀寺において斬殺した「因幡二十士事件」から150年にあたる。事件後に1人が切腹し、1人が行方不明となったことから、彼らは「因幡二十士」とも呼ばれる。

この展覧会では、「因幡二十士事件」の背景や与えた影響を幕末鳥取藩の動向から考え、あわせて激動の時代にあつて信念を貫き活動した人びとの軌跡を、「鳥取藩二十二士」を中心に紹介する。また、彼らが「志士」として顕彰される過程を通観し、鳥取にとっての「明治維新」の意味を改めて問い直す。

〈展示構成と主な展示品〉

(1) ペリー来航の衝撃

幕末風俗図巻（神戸市立博物館）、癸丑墨夷入津図（当館）など

(2) 幕末政局と鳥取藩

徳川慶喜所用衣冠（茨城県立博物館）、坂本龍馬関係資料（京都国立博物館・国重文）、池田茂政所用の陣羽織（林原美術館）など

(3) 本圀寺事件と鳥取藩因幡二十士

伝河田佐久馬拳銃（日野町・泉龍寺蔵）、伝詫間樊六刀剣（当館）など

(4) 幕長戦争と手結浦の仇討ち

七卿落図（下関市立長府博物館）、二十士辞世の扇子（個人蔵）、討幕の密勅（毛利博物館・国重文）など

(5) 戊辰戦争とその後の二十士

野州安塚之里賊軍敗走之図（山国隊軍楽保存会）、勝海舟書状（個人蔵）、扁額「時敏塾」（すみだ郷土文化資料館・区指定）、吉田直人贈位記（北海道札幌市・吉田家蔵）など

- 2 会 期 平成25年11月23日（土・祝）～12月23日（月・祝）（31日間）
- 3 会 場 鳥取県立博物館 第1～3特別展示室
- 4 入館料 一般 600円（前売り・団体400円）
- 5 主 催 鳥取県立博物館
- 6 協 賛 日本通運(株)、(株)モリックスジャパン、(株)吉備総合電設、三和商事(株)

7 関連行事

■特別講演会「幕長戦争と鳥取藩」（会場：講堂、対象：一般、定員250名〈申込不要〉、参加無料）

日時：平成25年12月8日（日）午後2時～3時30分

講師：三宅紹宣氏（広島大学大学院教育学研究科 教授）

■幕末・維新 鳥取藩を読み解く連続講座（全4回）

（会場：講堂、対象：一般、定員250名〈申込不要〉、参加無料）

①「鳥取藩諸隊・新国隊をめぐる諸問題」

日時：平成25年11月24日（日）午後2時～3時30分

講師：阿部裕樹氏（明治大学史資料センター）

②「幕末政治と鳥取藩」

日時：平成25年12月1日（日）午後2時～3時30分

講演：笹部昌利氏（京都産業大学・佛教大学非常勤講師）

③「鳥取藩池田家の江戸湾警備」

日時：平成25年12月15日（日）午後2時～3時30分

講師：富川武史氏（品川区立品川歴史館 学芸員）

④「鳥取の寺社からみた幕末・維新」

日時：平成25年12月22日（日）午後2時～3時30分

講師：岸本覚氏（鳥取大学地域学部 准教授）

■ギャラリートーク（会場：展覧会会場、企画展入場料が必要）

日時：平成25年11月23日（土）、30日（土）、12月14日（土）、21日（土）午前11時～